

人口、高齢者数、要介護・要支援認定者、給付費等の現状と推移(第6期計画より)

1 人口、高齢者数、高齢者世帯数、要介護認定者数の現状と将来推計について

(1) 年齢階級別人口の推移

本市の総人口は、平成 26 年の 714,583 人をピークに平成 27 年から緩やかな減少傾向になると見込まれる。

年齢別人口構成を高齢者人口(65 歳以上)、生産年齢人口(15 歳～64 歳)、年少人口(0 歳～14 歳)の 3 区分別で見ると、総人口に占める年少人口と生産年齢人口の合計割合は、平成 12 年は 83.0%、平成 26 年は 75.8%と、14 年間で 7.2 ポイント減少している。

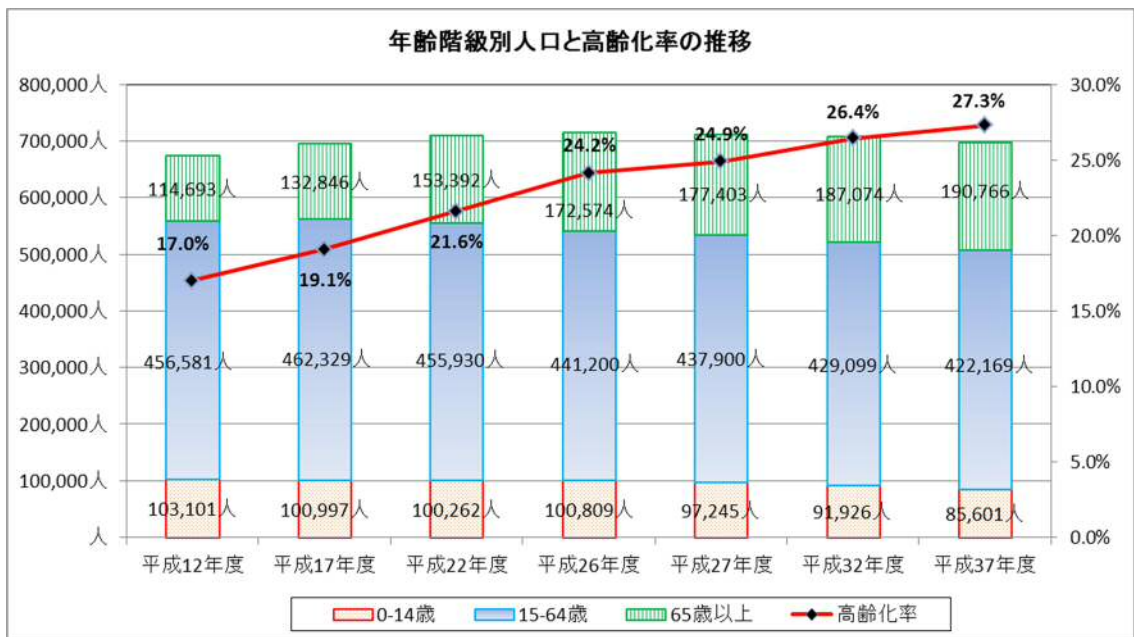
一方で、総人口に占める高齢者人口の割合は、平成 12 年は 17.0%、平成 26 年は 24.2%と 7.2 ポイント増加している。

今後においてもこの少子高齢化は確実に進行し、平成 37 年には、高齢者人口の割合が 27.3% に達し、3.7 人に 1 人が高齢者となることが予想される。

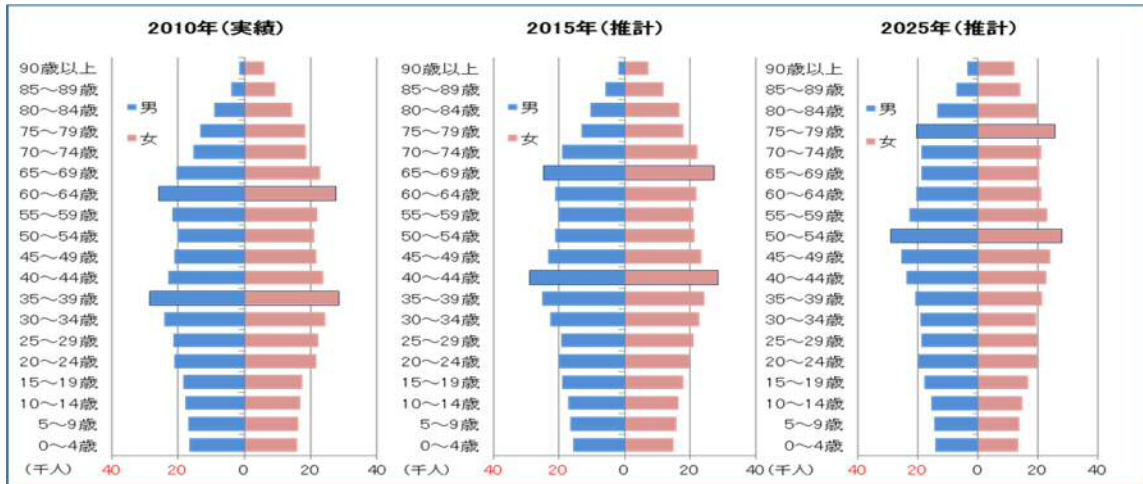
(単位:人)

	平成12年度	平成17年度	平成22年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度	平成37年度
0-14歳	103,101人 (15.3%)	100,997人 (14.5%)	100,262人 (14.1%)	100,809人 (14.1%)	97,245人 (13.6%)	91,926人 (13.0%)	85,601人 (12.3%)
15-64歳	456,581人 (67.7%)	462,329人 (66.4%)	455,930人 (64.3%)	441,200人 (61.7%)	437,900人 (61.5%)	429,099人 (60.6%)	422,169人 (60.4%)
65歳以上	114,693人 (17.0%)	132,846人 (19.1%)	153,392人 (21.6%)	172,574人 (24.2%)	177,403人 (24.9%)	187,074人 (26.4%)	190,766人 (27.3%)
総人口	674,375人	696,172人	709,584人	714,583人	712,548人	708,099人	698,536人

※ 各年度 10 月 1 日。平成 27 年度以降は、国立社会保障・人口問題研究所の将来推計人口。



(2) 岡山市の人口ピラミッドの変化



※ 2015年(平成27年)以降は岡山市推計

(3) 高齢者数の推移

介護保険の第1号被保険者である65歳以上の高齢者については、団塊の世代が平成24年から65歳以上になってきていることから、増加する傾向にある。

そのうち、65歳から74歳の前期高齢者の人口は、平成27年をピークに緩やかに減少するが、75歳以上の後期高齢者は、増加が見込まれる。

今後の将来推計においても、平成32年には、後期高齢者数が前期高齢者数を超え、平成37年には、後期高齢者人口の割合が16.3%となり、市民の6人に1人が75歳以上の後期高齢者となることが予想される。

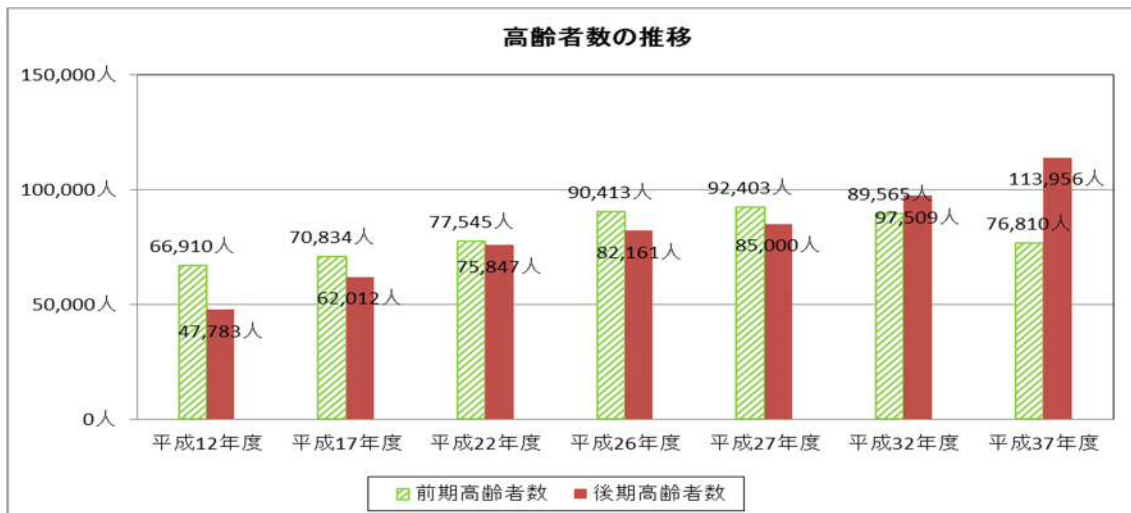
(単位:人)

	平成12年度	平成17年度	平成22年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度	平成37年度
前期高齢者数	66,910	70,834	77,545	90,413	92,403	89,565	76,810
後期高齢者数	47,783	62,012	75,847	82,161	85,000	97,509	113,956
高齢者数計	114,693	132,846	153,392	172,574	177,403	187,074	190,766
総人口	674,375	696,172	709,584	714,583	712,548	708,099	698,536
後期高齢化率	7.1%	8.9%	10.7%	11.5%	11.9%	13.8%	16.3%

※ 各年度10月1日。平成27年度以降は、国立社会保障・人口問題研究所の将来推計人口。

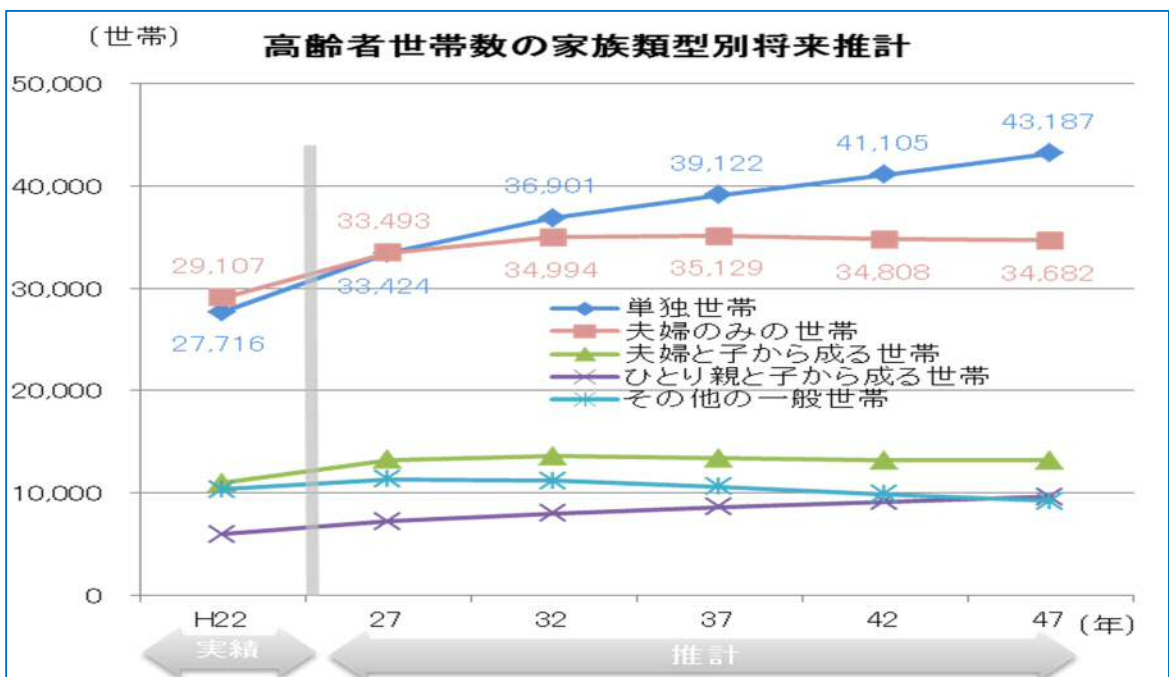
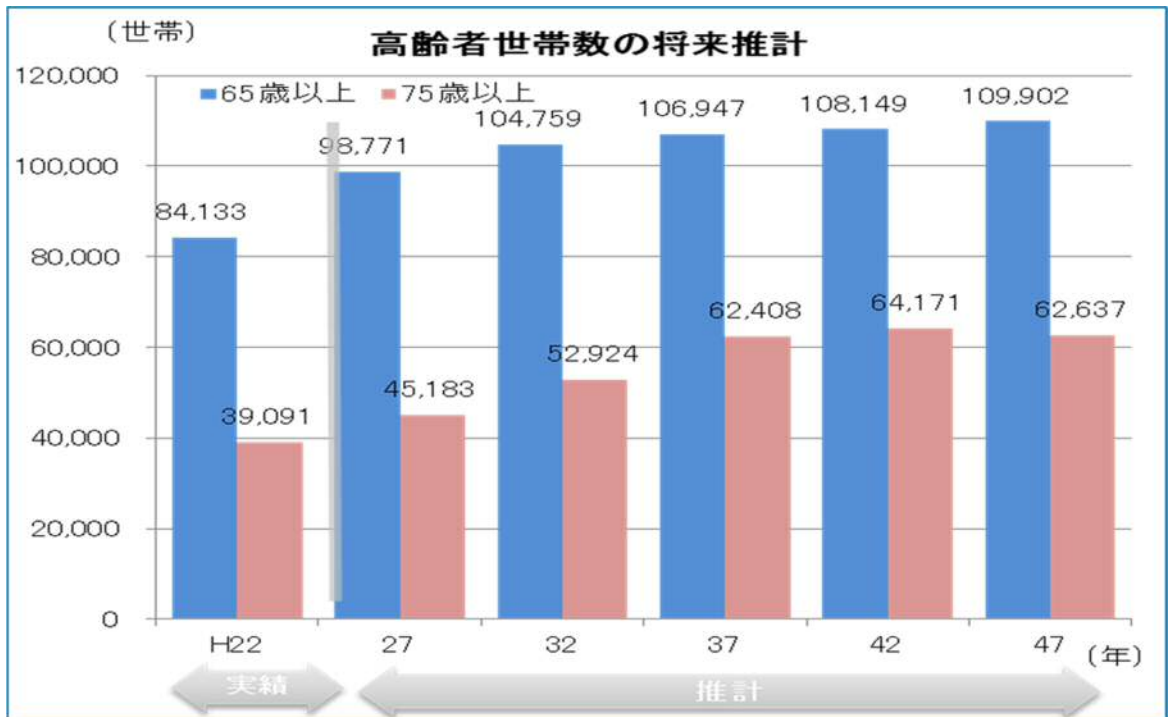
※ 前期高齢者:65歳以上75歳未満、後期高齢者:75歳以上。

※ 後期高齢化率=後期高齢者数/総人口。



(4) 高齢者世帯数の推移

世帯主の年齢 65 歳以上の高齢者世帯は、平成 47 年まで増加する見込み。
 また、このうち世帯主の年齢 75 歳以上の世帯は、平成 42 年まで増加し、その後減少する見込み。
 家族類型別にみると、現在最多の夫婦のみの世帯は、平成 32 年まで増加し、その後はほぼ横ばいになる見込み。
 これに対し、単独世帯は平成 47 年まで着実に増加する見込み。



※ 平成 27 年以降は岡山市推計

(5) 要介護(要支援)認定者数の将来推計

要介護(要支援)認定者数は、介護保険制度開始の平成12年度以来、年々増加している。
 平成26年9月では36,138人であり、平成12年9月と比較すると20,733人の増加となっている。
 また、認定率は、ここ数年は横ばいの状態であったが、平成37年9月では、認定者数52,518人、
 認定率27.5%と、今後は上昇を見込んでいる。

これは年齢階級別の認定率が異なるためで、認定率の高い75歳以上の後期高齢者が増加していくことによるものである。

要介護度別人数は、要介護2までの軽度の方を中心に年々増加する傾向にある。

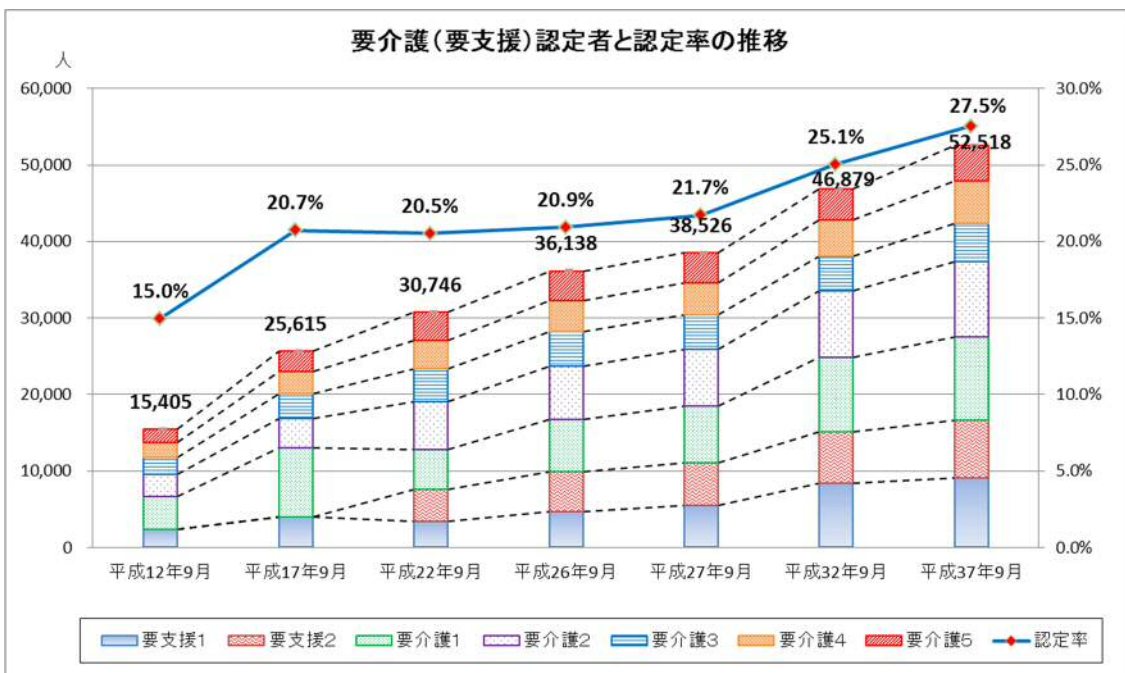
(単位:人)

	平成12年9月	平成17年9月	平成22年9月	平成26年9月	平成27年9月	平成32年9月	平成37年9月
要支援1	2,414	3,935	3,390	4,687	5,515	8,352	9,127
要支援2	—	—	4,237	5,166	5,486	6,738	7,505
小計	2,414	3,935	7,627	9,853	11,001	15,090	16,632
要介護1	4,261	9,052	5,183	6,830	7,442	9,699	10,868
要介護2	2,826	3,898	6,233	7,055	7,428	8,760	9,910
要介護3	2,275	3,219	4,323	4,479	4,509	4,505	4,916
要介護4	1,988	2,876	3,723	4,065	4,201	4,723	5,577
要介護5	1,641	2,635	3,657	3,856	3,945	4,102	4,615
小計	12,991	21,680	23,119	26,285	27,525	31,789	35,886
認定者数計	15,405	25,615	30,746	36,138	38,526	46,879	52,518
第1号被保険者数	102,908	123,560	149,790	172,574	177,403	187,074	190,766
認定率	15.0%	20.7%	20.5%	20.9%	21.7%	25.1%	27.5%

※ 平成26年度までは実績(介護保険事業状況報告)、平成27年度以降は推計。

※ 要介護(要支援)認定者数には第2号被保険者数を含む。

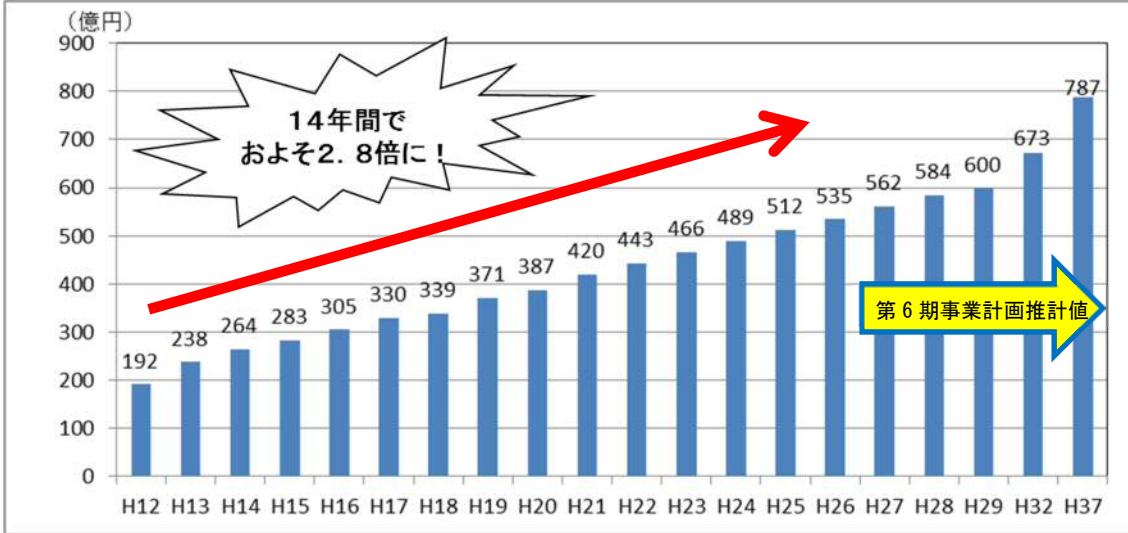
※ 認定率=認定者数計/第1号被保険者数。



2 介護サービス利用と給付費の推移

(1) 介護保険給付費の推移

岡山市の介護給付費はH12年度からH26年度の14年でおおよそ2.8倍に増加
(H12年度:193億円→H26年度535億円)

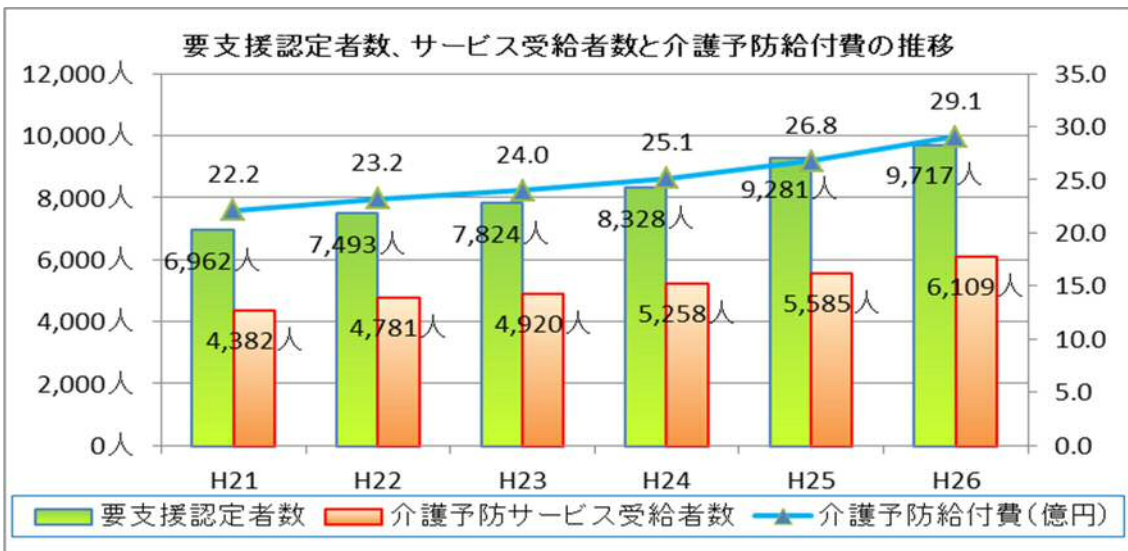


(2) 要支援認定者数、介護予防サービスの利用人数及び給付費の推移

介護予防サービスの受給率はほぼ横ばいで推移しているが、要支援認定者数の増加に伴い、介護予防サービスの受給者数は、年々増加している。
これに伴い介護予防給付費も直近の2年間ではおおよそ7~8%の割合で増加している。

(単位:人)

	H21	H22	H23	H24	H25	H26
要支援認定者数	6,962	7,493	7,824	8,328	9,281	9,717
要支援1	2,693	3,350	3,398	3,712	4,419	4,637
要支援2	4,269	4,143	4,426	4,616	4,862	5,080
介護予防サービス受給者数	4,382	4,781	4,920	5,258	5,585	6,109
介護予防サービス受給率	62.9%	63.8%	62.9%	63.1%	60.2%	62.9%
介護予防給付費(億円)	22.2	23.2	24.0	25.1	26.8	29.1



(3) 介護予防訪問介護・通所介護の利用者数の推移

平成 24 年度から平成 26 年度までの第 5 期事業計画期間中において介護予防訪問介護は利用者も給付費もほぼ横ばいで推移している。一方で、介護予防通所介護は、利用者が前年比で 10%以上増加しており、これに伴い給付費もおよそ 10%程度増加している。

介護予防訪問介護

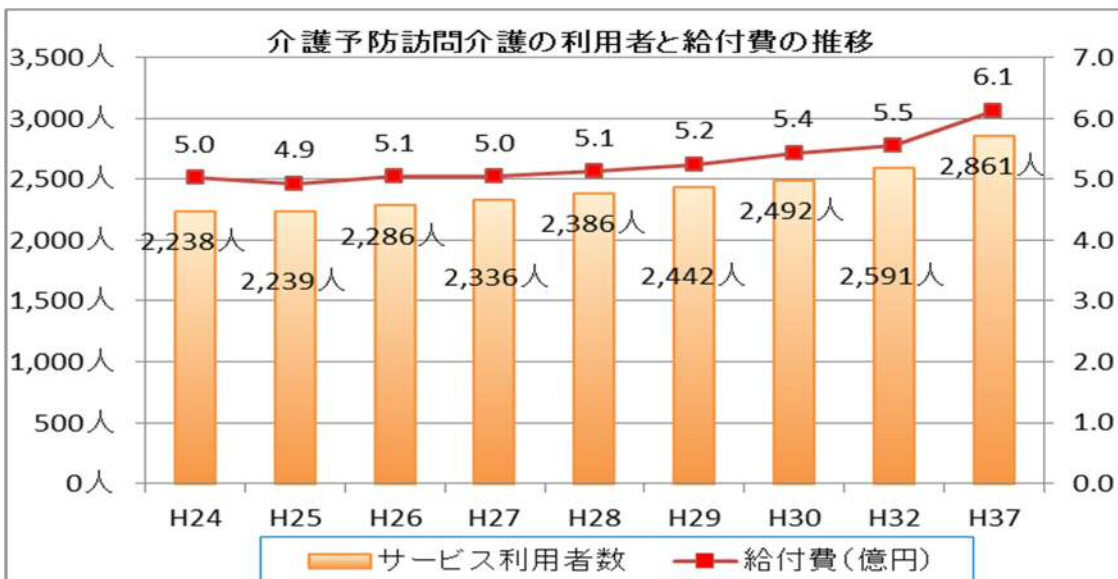
(単位:人)

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H32	H37
サービス利用者数	2,238人	2,239人	2,286人	2,336人	2,386人	2,442人	2,492人	2,591人	2,861人
給付費(億円)	5.0	4.9	5.1	5.0	5.1	5.2	5.4	5.5	6.1

介護予防通所介護

(単位:人)

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H32	H37
サービス利用者数	2,152人	2,404人	2,722人	3,033人	3,315人	3,607人	3,794人	4,168人	4,673人
給付費(億円)	8.5	9.3	10.6	11.6	12.5	13.5	14.5	15.7	17.9



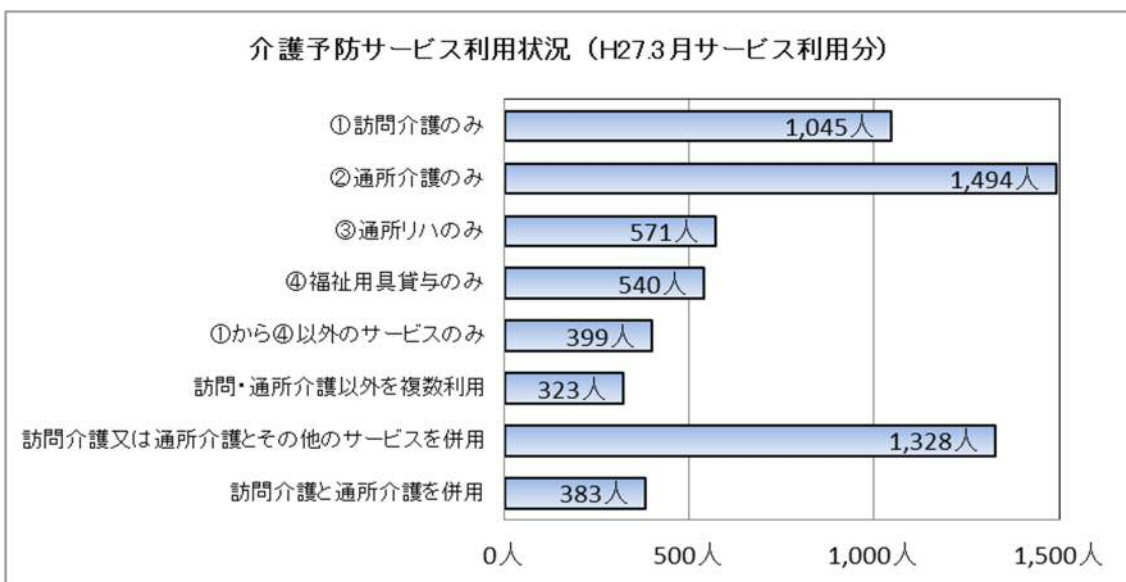
(4)介護予防サービスの利用状況(H27.3月利用分)

介護予防サービスの利用状況において、単独での利用では通所介護のみの利用者が14.2%と最も多く、次いで訪問介護が9.9%となっている。

他のサービスとの併用も含めると、要支援者全体のおよそ40%の方が通所介護と訪問介護のどちらか利用している。

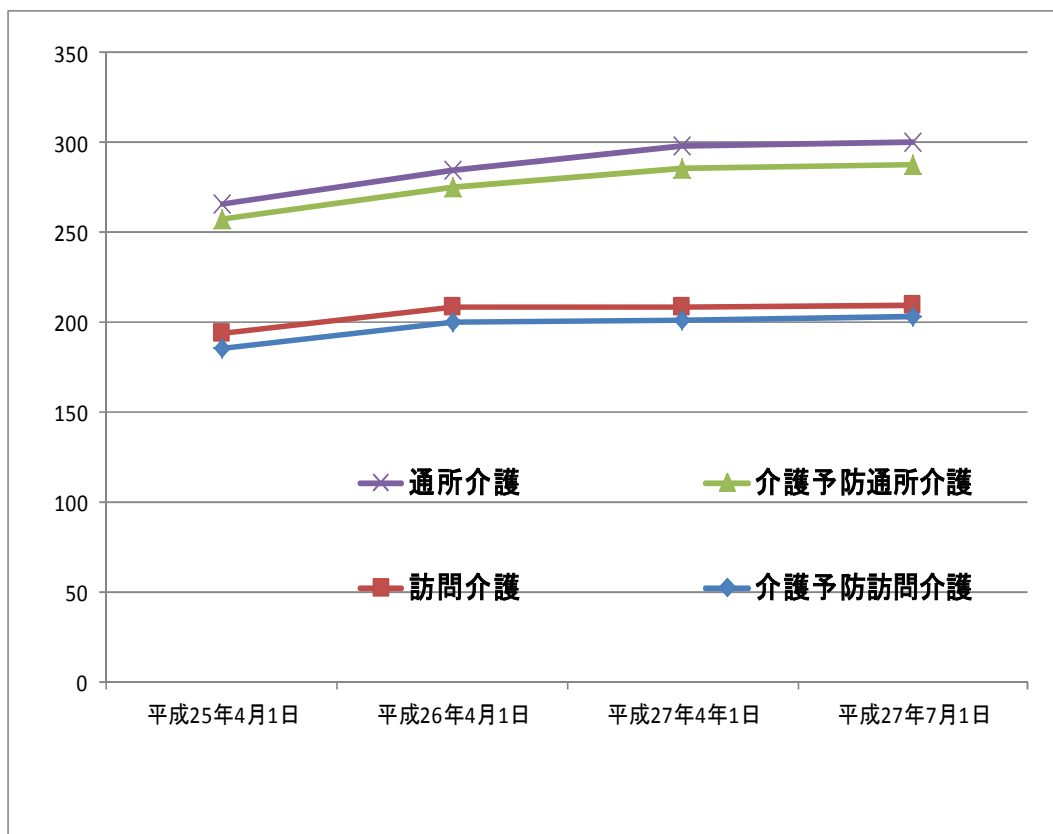
新総合事業を実施した場合、現在介護予防サービスを利用している方のうち、およそ半数の方は要支援認定を受けなくてもサービスが利用できることになると見込まれる。

サービス利用状況	要支援認定の可否	サービス内容	利用者数(人)	要支援者全体に占める割合
単独利用	要支援認定不要	①訪問介護のみ	1,045人	9.9%
	要支援認定不要	②通所介護のみ	1,494人	14.2%
	要支援認定必要	③通所リハのみ	571人	5.4%
	要支援認定必要	④福祉用具貸与のみ	540人	5.1%
	要支援認定必要	①から④以外のサービスのみ	399人	3.8%
複数利用	要支援認定不要	訪問介護と通所介護を併用	383人	3.6%
	要支援認定必要	訪問介護又は通所介護とその他のサービスを併用	1,328人	12.6%
	要支援認定必要	訪問・通所介護以外を複数利用	323人	3.1%
—	—	サービス利用なし	4,444人	42.2%
総計			10,527	100.0%



3 岡山市の事業所数の推移

介護予防訪問介護、介護予防通所介護の事業所は、近年増加傾向にある。
訪問介護、通所介護はそれぞれ、介護予防訪問介護、介護予防通所介護を一体的に行っている事業所が多い。



(単位:事業所数)

	平成25年4月1日	平成26年4月1日	平成27年4年1日	平成27年7月1日
介護予防訪問介護	185	200	201	203
訪問介護	194	208	208	209
介護予防通所介護	257	275	286	288
通所介護	266	285	298	300

※岡山市作成「介護保険 介護サービスガイドブック」(休止事業所を除いた事業所一覧)より